



研究開発活動

チーフ メディカル & サイエンティフィック オフィサー
山田 忠孝

2015年 5月 15日

武田薬品工業株式会社

重要な注意事項



将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。リスクや不確実性は、特に製品に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制当局からの承認取得、国内外の医療保険制度改革、医療費抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、承認済み製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす製造能力を欠く状況、原材料の入手困難、市場の需要が得られない場合などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

製品情報に関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報には、武田薬品の製品についての情報が含まれておりますが、それらの製品は、すべての国で発売されているものではありませんし、また国によって異なる商標、効能、用量等で販売されている場合もあります。また、本発表において提供される資料に記載されている医療用医薬品（開発品を含む）の情報は、そのような製品を宣伝・広告するものではありません。

フォーカスした重点領域における 革新的かつグローバルなポートフォリオ



グローバル製品

| 承認もしくは承認見込み時期 | オンコロジー | 中枢神経系疾患 | 代謝性・循環器系疾患 | 消化器系疾患 | ワクチン | その他疾患領域 |
|---------------|--|---|---|----------------------|---|---|
| FY2008 - 2012 | ADCESTRIS® VECTIBIX® | REMINYL® | NESINA® AZILVA® EDARBI® LOTRIGA® | DEXILANT® | | COLCRYS® ULORIC® ALVESCO® DAXAS® |
| FY2013 - 2017 | ixazomib | BRINTELLIX® glatiramer (COPAXONE®) | CONTRAVE® ZAFATEK® | ENTYVIO® TAKECAB® | TAK-850 Influenza | |
| FY2018 - 2022 | MLN0264 TAK-385 MLN0128 alisertib | AD-4833/ TOMM40 rasagiline (AZILECT®) | TAK-272 | TAK-114 | TAK-003 Dengue TAK-214 Norovirus | namilumab |

注記:本表には、臨床第2相試験実施中およびそれ以降の開発段階にあり、当社の将来業績見込みに大きな影響を与える可能性のあるパイプラインを記載

*海外製品名、日本における製品名は未定

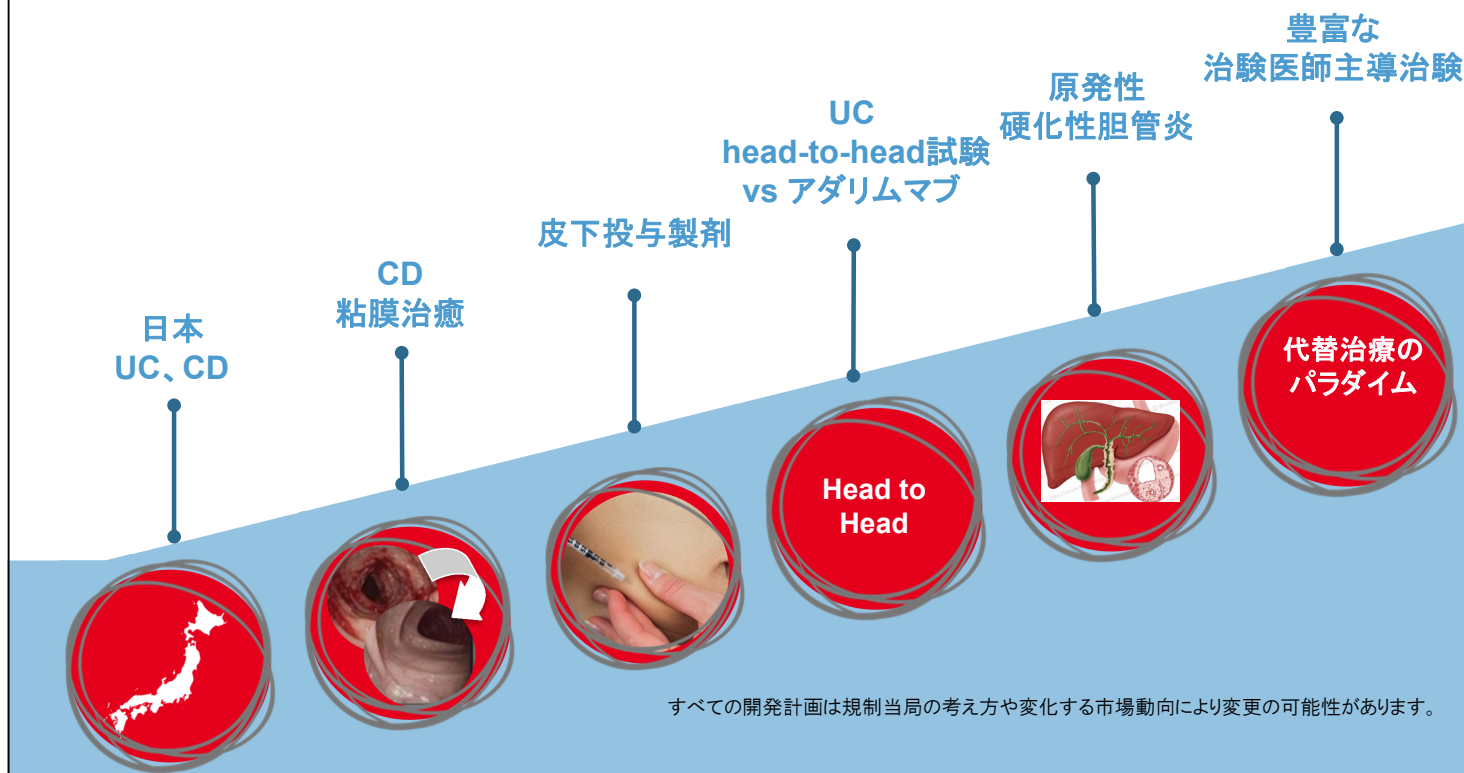
ENTYVIO®: 炎症性腸疾患患者さんの アンメットメディカルニーズにこたえる製品



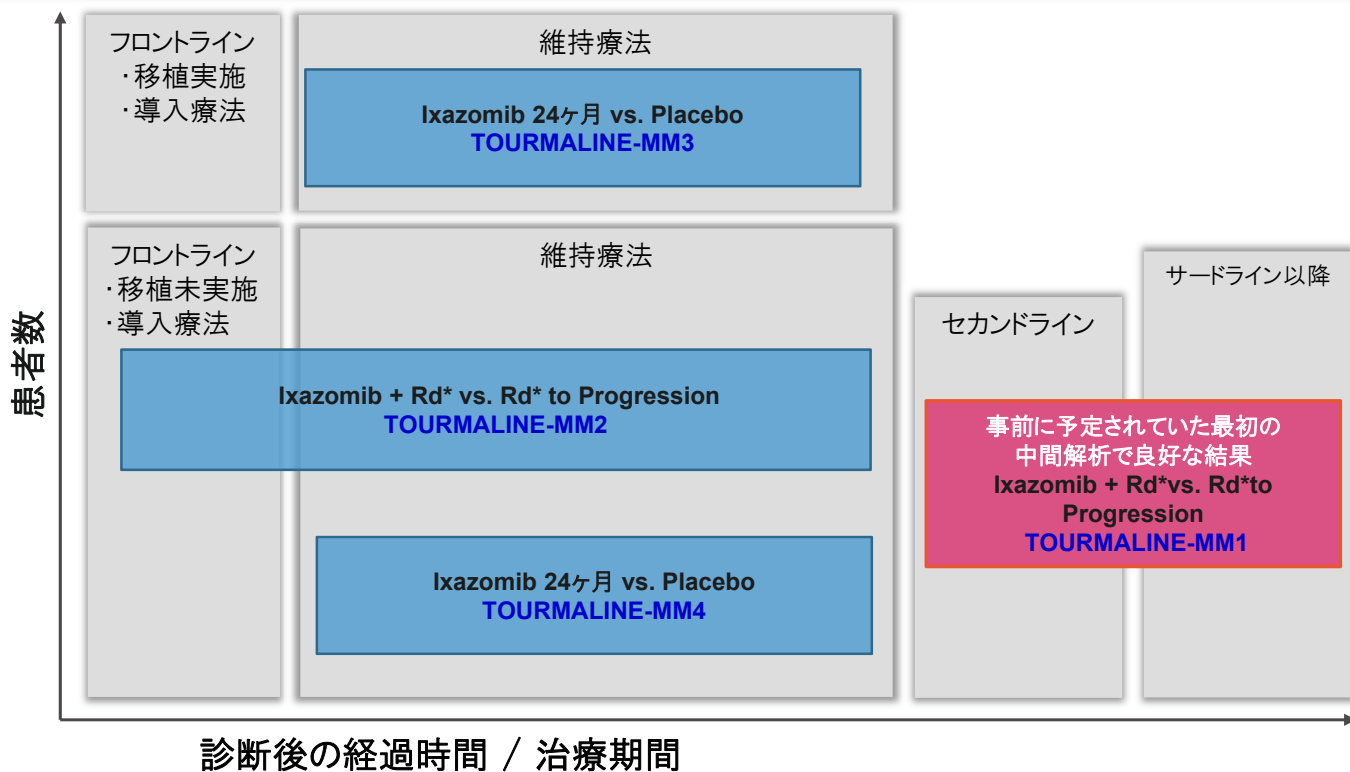
- **最初で唯一**、中等度から重度の潰瘍性大腸炎(UC)およびクローン病(CD)の治療のために計画・開発された生物学的製剤
- **最初で唯一**、米国および欧州において、抗TNFα抗体未処方あるいは抗TNFα抗体不応のUCおよびCDの患者さんの両方に使用可能
- **最初で唯一**、消化管局所の炎症プロセスを抑制すべくデザインされた、特異的結合作用を有する生物学的製剤
- **最初で唯一**、米国と欧州でUCおよびCDの両方の効能で承認された薬剤
- 添付文書にブラックボックス警告の記載なし



ENTYVIO®: 急速な販売立ち上げに続き 積極的なライフサイクルマネジメントを予定



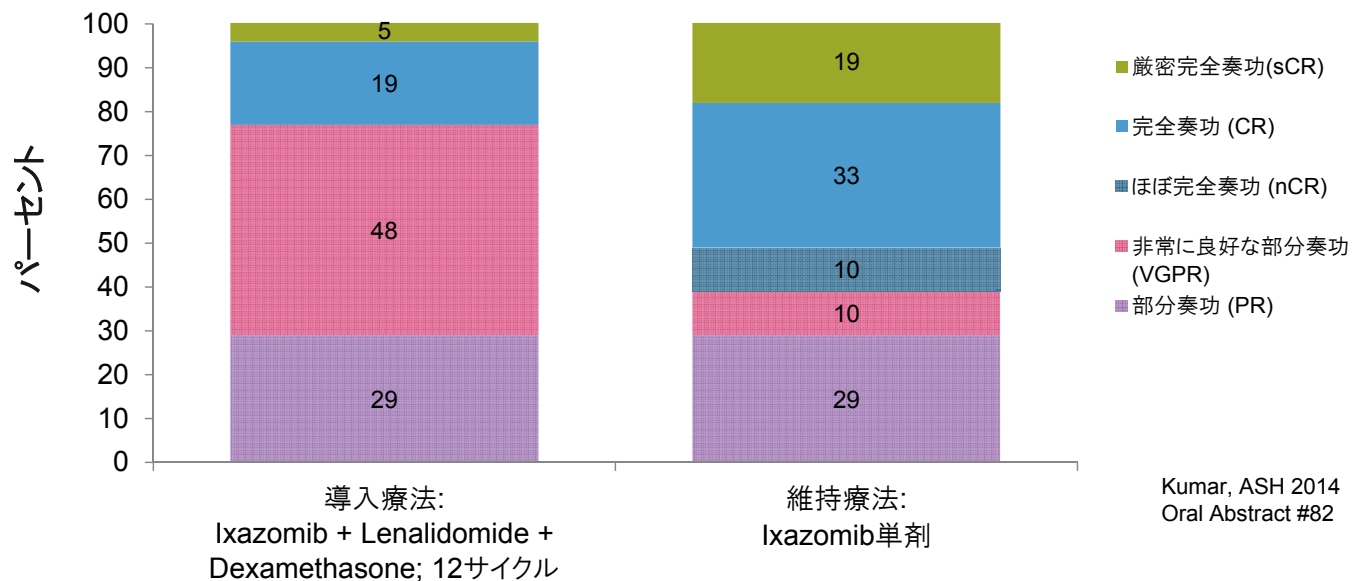
Ixazomibの開発プログラム - 長期間のプロテアソーム阻害が 多発性骨髄腫に最良の治療法であることを示す



安全性と簡便性を高め、 より長期的な治療と高い効果をめざす



ixazomib単剤: より長い投与期間で、より高い効果 維持療法中の患者さん (n=21/50) で最良の反応



- 維持療法期間において、有害事象による投薬の中止や死亡は認められず、良好な忍容性が認められた
- 維持療法期間において、薬剤関連のグレード3の有害事象は14%の患者に認められた

